

会報

◇奈良大学史学会總會

五月二十九日(土)、本学において、第十七回奈良大学史学会總會を行った。一九九八年度の決算・会計監査報告及び事業報告が行われ、ついで一九九九年度の役員人事案・事業計画案とそれに伴う予算案が提案され、それぞれ原案どおり承認された。

一九九九年度の役員は以下の通り。

▽会長 菅野 正

▽副会長 水野柳太郎

▽教員委員

(庶務・会計) 明石 岩雄

(庶務・交換) 森田 憲司

(編集) 青木 芳夫

(監査) 守山 記生

鎌田 道隆

▽学生委員

(代表) 松本 祐也

(副代表) 二宮 猛

(総務局長) 曾田 洋子

(広報局長) 柴田芽求美

(青垣祭企画実行局長) 石橋 尋志

(四回生委員) 川野 哲 島袋 静佳 杉浦 茜

都築 隆人 中内 百恵 福山 麻衣 古市 一志

本郷 統章 道田 悦康 湯本 可奈 依光 讓治

和田 寛樹

(三回生委員) 綾 美菜子 垣下 高継 神崎 前

神戸 雄佑 木下 一誠 小森智香子

(二回生委員) 飯塚 直紀 川田 祐介 城野 岳雄

竹岡 健次 中村 祐子 平畑 典之 堀之内寛郎

水本 暁子 森 和徳

(一回生委員) 市川 裕子 伊藤 大樹 井上あゆみ

入澤 絵里 上田 哲平 小野真悠美 尾上由希子

片山 泰宏 鎌田 康治 兒島 寛 坂田陽一郎

坂本 昌隆 鈴木 啓史 高橋 広光 高宗真一郎

長 奈保子 二ノ宮崇司 能瀬 未央 野村 祐子

花房 浩輔 矢津 聡子 山本 勝 横道 豊

渡辺 直子

◇特別講義

五月二十九日(土)、史学会総会に引き続き、特別講義が行われた。講師・演題は以下の通り。

藤善 真澄氏(関西大学教授)

「遣唐使の道」

中塚 明氏(奈良女子大学名誉教授)

「歴史と史実」

◇青垣祭

昨年度に引き続き、青垣祭(学園祭)に出展した。本年度は「トイレ今昔物語——トイレの変遷と尿処理——」のテーマで展示発表を行った。会場ではトイレの遺跡をパネル・模型で紹介したうえ、世界のトイレを比較し、トイレの歴史と未来を考察した。「トイレ」というユニークな展示に、十月三十一日(日)から十一月三日(水・祝)の四日間で延べ七百人の来場者が訪れた。また、青垣大賞(学園祭において優秀な団体に贈られる)の編集企画部門で第一位、展示企画部門で第三位という快挙を成しとげ、各方面から高い評価を受けた。ご協力いただいた方々には深くお礼を申し上げる次第である。

◇伝統工芸体験ツアー

毎年恒例となった伝統工芸体験ツアーは、好評につき年一回のところ年三回に増やした。七月四日(日)、一回生委員が中心に企画した「生八つ橋体験ツアー」は本学科学生よりも他学科学生の参加が多く、また滅多にできない体験でもあることから、非常に好評であった。ついで、十一月には二回生委員を中心に「嵐山でオルゴールを作ろう!」、十二月には三回生委員を中心に「歴史体験バスツアー」が企画されており、史学会の行事として定着してきている。

◇「史学会会報」等の発行

奈良大学史学会の活動の普及を目的として、「史学会会報」を二ヶ月に一回発行し、史学会の企画案内、各地の史跡や祭事等を掲載した。本年度は史学会総会において、「史学会会報」のあり方について指摘があったことから、内容の一部を変更した。また、本年度も一回生を対象に来年度以降の講読・ゼミを決定する上での参考資料として、各ゼミに所属する学生の執筆による「講読紹介」を発行した。

◇会員動向

○青木芳夫氏（西洋近現代史担当）は、奈良大学在外研修

制度により四月二日から九月一日までの間、ペルー国立

クスコ大学（人類学）に客員研究員として所属しながら、

ケチュア語の総合的研究に従事した。また、三月には、

E・オゴルマン著『アメリカは発明された——イメージ

としての一九九二年——』を翻訳し、日本経済評論社か

ら出版した。

○守山記生氏（西洋中世史担当）は、平成八〜十年度の科

学研究費による研究の成果報告書を三月に発刊した。テ

マは「フランドル伯の領域君主領の形成」である。

平成十年度史学科卒業論文題目

【日本史】

奈良時代の女帝について

伊勢斎宮について

—古代斎宮と天武期以降の斎宮の比較検討—

八・九世紀の山陵祭祀

節度使について

「続日本紀」にあらわれる八世紀後半の高麗

元正天皇論

告朔の変遷について

光明立后の再検討

太政官の構成について

藤原仲麻呂の一考察

八、九世紀の蝦夷対策

出挙の起源について

古代の宣について

古代国家の仏教観

古代における後宮職員構成について

古代における私度僧の一考察

安部 香苗

天木 弥生

伊藤 亮司

岡田 真希

小田原陽子

加藤 伸次

川口 智子

久山 良子

七理美衣子

島田 祐子

高倉 啓輔

野間 理恵

稗田佳那子

藤田 梨恵

別府 朗子

牧内 克博

太上天皇考

統日本紀に見える高麗について

律令にみる名例律の適用について

皇位継承と「不改常典」

古代女官考

☆ ☆ ☆

鎌倉末から南北朝期にかけての日野氏の動向について

―俊光・資名・資朝父子を中心に―

日親の肥前布教について

―領主千葉氏との動向をめぐって―

日野富子の財力形成について

『甲陽軍鑑』にみる甲州流兵法

源義経と源頼朝の確執に関する一考察

桃山時代の女性の服飾について

―辻ヶ花染における考察―

毛利氏の九州出兵

―門司城・筑前立花山城の争奪戦について―

中世武士団と多田院の關係について

畠山氏の河内支配と家督争いについて

―十五世紀中頃の家督争乱を中心にして―

水原 理絵

宮岡 政之

望月里加江

森下 昌毅

寄川 佳子

小川三千子

奥野 和美

尾野 弘美

桑野 雄介

小寺 直樹

小峰 行代

坂下 智成

雀部 友也

澤邊 知美

大和を舞台にする能の成立と伝承の史的關係について

新谷 尚子

関ヶ原合戦時における九州での情勢

杉本 哲哉

―黒田如水の動きについて―

護良親王の滅亡について

頭師 聖美

―尊氏との征夷大將軍争いを中心に―

山城国一揆にみられる惣国について

多田 望

連歌師宗長の生活について

谷沢 美香

―『宗長手記』と『宇津山記』を中心として―

足利義持政権の成立過程に関する一考察

豊嶋 睦

鎌倉期における白拍子の歴史的考察

殿村 浩子

―白拍子亀菊を中心にして―

法然とその思想的推移

西川 秀雄

―社会背景と思想の動き―

鎌倉時代中期の諏訪氏と北条氏の關係について

野田 妙

細川高国と摂津国人衆の關係について

馬場 隆博

大内氏繁栄の礎

宝迫 健二

大内義隆の九州経略について

松重 好雅

文永十年の新見庄の下地中分について

三宅 秀明

雑賀一揆の歴史的特色について

山田 成久

南朝勢力としての楠木氏

山本さくら

―楠木正儀の北朝投降について―

寛元四年宮騒動に関する一考察

吉岡 妙子

―九条家勢力の興亡と鎌倉幕府―

☆ ☆ ☆

天保改革における風教政策と庶民の動向

磯村 和美

近世中期以降の家元制度を通してみた茶道文化の形成

岡田 拓也

近世今井町における町民の町づくりについて

江戸中期以降の大坂町人の相続に関する配慮について

奥井 功

江戸時代中期以降における倉吉荒尾氏の政治体制について

笠田 真美

近世初頭における薩摩藩の政治問題と琉球出兵

佐藤 綾子

海難救助法からみた近世瀬戸内海における海上交通

高田 康史

近世中期における幕政改革としての田沼政治

近世の南山城における水利争論の発生と展開

高橋 隆夫
竹重 宏輝

近世京都における町会所の役割

武田 明子

安土桃山時代における佗び茶の成立とその意義

千川 政二

近世における木津川水運の展開

近世東海道筋における土産物化について

米沢藩成立期における家臣団統制

加賀一向一揆の内部構造からみる

本願寺の一國支配について

近世初期のキリスト教排斥における政治と宗教

友澤 毅
中村 昌宏
西村 志郎

近世大和における郡山町と周辺農村の交流について

深澤 明子
前田 有美

近世中期以降の極小藩の成立と財政の安定化をめぐる

―近江国堅田藩を中心に―

近世尼崎の漁業に関する史的考察

南 麻希子
宮城 麻美

近世後期における社会諷刺の多様化について

宮田 愛子

石高制成立期の近江における領国支配と都市建設について

―江戸の流行神を中心に―

八木 健
矢崎久美子

安芸国における民間社倉の実施状況について 脇 智与

☆ ☆ ☆

関東大震災後の都市復興計画

荒川 隆

―市街地の拡大とそれに伴う諸問題―

幕末から明治初期にかけての造船史

板谷 雅司

―船大工上田寅吉を中心にして―

戦後児童の生活実態

柏倉 一郎

日本における英語教育史

金澤 庄吾

「パナイ」号事件の嘘

亀井 美希

清沢洌のアメリカ研究

唐澤 武彦

軍楽隊と洋楽の普及

末光奈穂子

昭和初期における樺太庁と樺太移民の農業について

勅使河原篤史

明治期における京都市の特別教授

早川 和也

小作争議の地域的特質と警察の関与

松江 克寿

日本の法律事情

森田 一義

近代香川における部落差別について

横井 武志

―A小学校差別事件を中心に―

【東洋史】

明崇禎年間の政治情勢について

伊藤 智嗣

―崇禎帝の評価を中心として―

明清時代の民間宗教結社について

佐用 真琴

漢代の爵制について

新家 衣美

北宋・開封周辺の河川の果たした役割について

―河川のもたらした利害を巡って―

高島 美季

金朝の中国化について

恒石 明宏

劉秀による後漢建国と諸勢力の関係について

中村 和美

唐代藩鎮の内部構造について

宮本 亮

婦義軍節度使時代の敦煌

森 千枝

―その貨幣不在について―

『史記』にみる司馬遷の歴史思想

森本 博史

前秦苻堅政權の華北支配

山西 政宗

南京城について

横坂 朋子

―聚宝門を中心として―

春秋・戦国期における貴族主導的社会のほころび

―民衆勢力について―

川村 倫生

☆ ☆ ☆

戦前日本人の満鮮観

石田 俊一

ソクラテスの処刑とアテナイの民衆意識について

—奈良女子高等師範学校の満鮮修学旅行をめぐって—

河村 健二

近代タイ国華僑史について

上東 未奈

古代ローマにおける葬送儀礼について

杉江 裕子

戊戌変法期の政治的状况

大空 幸恵

ホメロス叙事詩の伝承

高橋 雅人

—光緒帝とその環境に関する考察—

—その伝承とポリスの社会的基盤との接点—

モンゴル帝国初期の漢人有力者の動向

高坂 直史

古代ギリシアにおける技術発展の諸問題

鳥山 剛

日清戦争期の清国の情况

佐藤 尚希

三世紀の危機について

松浦 慶人

戊戌変法期における康有為の方策

田中 睦巳

—都市の衰退—

村上 輝幸

清代中期における官吏任用法について

田中 元浩

ローマの子供

村上 輝幸

太平天国と列強

仲田 達也

—見習い期間と待ちの期間—

村上 輝幸

明代における宦官の政治関与について

山口 俊之

ローマ帝国の変容

村松 克俊

【西洋史】

—身分構成の変化—

シユメールの国家における社会と宗教の関連について

安藤 正道

古代エジプトの太陽信仰について

森本 恭裕

グラックス兄弟の改革

岩本 直樹

古代ユダヤにおける宗教と政治

山崎由紀子

—農地法の展開を中心に—

岩本 直樹

—ローマ支配下でのユダヤ解放運動—

横山 史郎

死者裁判に見るマアト（正義）の観念について

上田 純子

—パトロネジ関係からみられる民衆と政治との関係—

横山 史郎

グラックス兄弟の改革と元老院

尾崎 由規

イタリア中世都市国家の形成

大見 剛彦

テンプル騎士団について

尾崎 由規

☆ ☆ ☆

川畑 護

フランス王権とポール・ロワイヤル運動

嶋中 博章

西欧中世における下層民について

野中 敏則

十字軍の変遷

的場 博和

☆ ☆ ☆

イギリス近代におけるコーヒー・ハウスについて

フロンティア論

山本 浩伸
杠 健太郎

― ロンドンのコーヒー・ハウスを中心に―

芦澤 京介

― ターナーから見たアメリカ―

マヤの宗教と儀礼

稲葉 千容

スペイン内戦期の文化

吉田 明子

― シナカンタンを中心に治療儀礼と十字架に関して―

ナチス第三帝国とホロコーストについて

黒田 京子

一八世紀のラテンアメリカ植民地における反乱

― ホロコーストの実態とこれまでの研究―

マヤにおける経済活動

副島志津代

― トウバック・アマルの反乱の考察―

松本 望
稲葉 直幸

― 交易を中心として―

古典期マヤ文明の都市センター

田中 千春

― 毛皮交易にみるエネルギーを中心に―

― コパンを中心として―

イタリアにおけるマフィアとは何か

辻田 恒

― イタリアアンマフィアの歴史―

ヴィクトリア期イギリスにおける都市労働者階級の生活

中野由美子

ペルー・アンデス民衆の宗教について

堀 美由紀

― 祖先信仰を中心に―

ヴェトナム戦争

森川由美子

ロンドン万国博覧会一八五一

矢野 大吾

米国の黒人問題に関するキング牧師と

マルコムXの思想の比較分析

山本 浩伸

受贈雑誌及び図書〔自一九九八年十一月
至一九九九年十月〕

雑誌

- 愛大史学（愛知大学文学部史学科） 第八号
愛知県立大学文学部論集 日本文化学科編 第1号
愛知大学博物館学芸員課程実習報告書 第四号
愛知大学文学論叢 第一一八、一一九輯
青山史学（青山学院大学文学部史学研究室） 第一六、一七号
青森県史研究（青森県生活環境部県史編纂室） 第三号
アカデミア 人文・社会科学編（南山大学） 第六九、七〇号
アジアアフリカ言語文化研究（東京外国語大学アジアアフリカ言語文化研究所） 第五六一五八号
アジア研究所紀要（亜細亜大学アジア研究所） 第二五号
アジアフォーラム（大阪経済法科大学アジア研究所） 一八、一九号
アジア文化学科年報（追手門学院大学アジア文化学科） 第一号
岩手史学研究（岩手史学会） 第八二号
- 宇佐風土記の丘歴史民俗資料館年報 一九九七
大分県立歴史博物館年報 一九九八
岡崎市史研究（岡崎市教育委員会） 第一五―二〇号
お茶の水史学（お茶の水女子大学読史会） 第四三号
海南史学（高知海南史学会） 第三七号
学習院大学史料館紀要 第一〇号
漢学研究通訊（漢学研究中心） 第六九―七二期
紀尾井史学（上智大学大学院史学専攻院生会） 第一八号
季刊南アジア 第一卷第四号
岐阜史学（岐阜史学会） 第九四、九五号
京都史歴史資料館年報 第一六号
キリスト教史学（キリスト教史学会） 第五三三号
ぐんま史料研究（群馬県立文書館） 第一一、一二号
研究成果報告書 第二号（南アジア世界の構造変動とネットワーク総括班）
神戸大学史学年報（神戸大学史学研究会） 第一四号
国士館史学（国士館大学史学会） 第六号
斎宮歴史博物館研究紀要 第三、八号
堺研究（堺市立中央図書館） 第二七号
史苑（立教大学史学会） 第五九卷第一、二号

- 史海（東京学芸大学史学会） 第四六号
- 史学（三田史学会） 第六八卷第一一四号、第六九卷第一号
- 史観（早稲田大学史学会） 第一四〇、一四二冊
- 史聚（史聚会） 第三二号
- 史人（広島大学学校教育学部下向井研究室） 第二号
- 史泉（関西大学史学・地理学会） 第八九、九〇号
- 史艸（日本女子大学史学研究会） 第三九号
- 史叢（日本大学史学会） 第五九、五八号
- 四天王寺国際仏教大學紀要 第三一号
- 史文（天理大学文学部歴史文化学科学専攻） 創刊号
- 社会科学研究所（中京大学社会科学研究所） 第一九卷第一、二号
- 史友（青山学院大学史学会） 第三二号
- 就実女子大学史学論集 第一三号
- 秋大史学（秋田大学史学会） 第四五号
- 上智史学（上智大学史学会） 第四三号
- 昭和女子大学文化史研究（昭和女子大学文化史学会） 一—三—
- 史料館研究紀要 第三〇号
- 信大史学（信大史学会） 第三三号
- 神女大史学（神戸女子大学史学会） 第一五号
- 人文論集（静岡大学人文学部） 第四九号二、第五〇号一
- スペイン史研究（スペイン史学会） 第一二号
- 住友史料館報 第三〇号
- 聖心女子大学論叢 第九二、九三号
- 西洋史学報（広島大学西洋史学研究会） 第二六号
- 西洋史論集（北海道大学文学部西洋史研究会） 第二号
- 西洋史論叢（早稲田大学西洋史研究会） 第二〇号
- 専修史学（専修大学史学会） 第三〇号
- 綜合郷土研究所紀要（愛知大学綜合郷土研究所） 第四四号
- 双文（群馬県立文書館） 第一六号
- 大正大学研究論叢 第六号
- 高円史学（高円史学会） 第一五号
- 橘史学（京都橘女子大学歴史文化学会） 第一三、一四号
- 地域研究いたみ（伊丹市立博物館） 第二七、二八号
- 千葉史学（千葉歴史学会） 第三三、三四号
- 近松研究所紀要（園田学園女子大学近松研究所） 第八、九号

中央史学（中央史学会） 第二二号

中国水利史研究（中国水利史研究会） 第二六号

中国歴史学研究彙報 一九九八上半年号、下半年号

津田塾大学国際関係研究所報 第三三号

土浦市立博物館紀要 第七一九号

敦賀論叢（敦賀短期大学） 第一三三号

東海史学（東海大学史学会） 第三三三号

東京大学日本史学研究室紀要 第三号

東洋史苑（龍谷大学東洋史研究会） 第五一、五三三号

東洋大学文学部紀要 史学科篇第二四号

徳川林政史研究所研究紀要 第三三三号

栃木史学（國學院大学栃木短期大学史学会） 第一三三号

富山県立日本海文化研究所報 第二一三号

長野県立歴史館研究紀要 第五号

奈良学研究（帝塚山短期大学奈良学会） 第二号

奈良県立民俗博物館研究紀要 第一六号

寧楽史苑（奈良女子大学史学会） 第四四号

奈良歴史研究（奈良歴史研究会） 第五一・五二二号

鳴門史学（鳴門史学会） 第二二集

新潟県立文書館研究紀要 第五、六号

新潟史学（新潟史学会） 第四一、四二二号

二松（二松学舎大学大学院文学研究科） 第二三集

二松学舎大学東洋学研究所集刊 第二九集

二松学舎大学論集 第四二二号

日本学研究（金沢工業大学日本学研究所） 第二号

日本研究（国際日本文化研究センター） 第一八、一九集

日本常民研究紀要（成城大学大学院文学研究科） 第二〇

輯
日本文化史研究（帝塚山短期大学日本文化史学会） 第三

〇、三一号

日本モンゴル学会紀要 第二八、二九号

年報中世史研究（中世史研究会） 第二四号

年報日本史叢（筑波大学歴史人類学系） 一九九八

白山史学（白山史学会） 第三五号

東アジア研究（大阪経済法科大学アジア研究所） 第三一

二五号

兵庫教育大学研究紀要 第一九卷

兵庫のしおり（兵庫県政資料館） 第一号

弘前大学国史研究（弘前大学国史研究会） 第一〇五、一

〇六号

広島東洋史学報（広島東洋史学研究会） 第三号

福岡教育大学紀要 第四八号第二分冊

富士論叢（富士短期大学学術研究会） 第四三卷第二号、

第四四卷第一号

ふびと（三重大学歴史研究会） 第四七一五二号

法政史学（法政大学史学会） 第五二号

法政史論（法政大学大学院日本史学会） 第二六号

北大史学（北大史学会） 第三八号

北陸史学（北陸史学会） 第四七号

御影史学論集（御影史学研究会） 第三三号

三井文庫論叢 第三二号

南アジア 構造・変動・ネットワーク 第一卷第二号、第

二卷第一号

南アジア 構造・変動・ネットワーク デイスカッション

ペーパー 第一一四号

民具マンスリー（神奈川大学日本常民文化研究所） 第三

一卷第六一—一二号、第三二卷第一—五号

明代史研究（明代史研究会） 第二七号

明大アジア史論集（明治大学東洋史談話会） 第四号

モンゴル研究（モンゴル研究会） 第一七号

横浜商大論集（横浜商科大学学術研究会） 第三二卷第一

号

山口県史研究（山口県史編纂室） 第七号

米沢史学（米沢史学会） 第一四号

立正史学（立正大学史学会） 第八四、八五号

龍谷史壇（龍谷大学史学会） 第一一一、一一二号

歴史（東北史学会） 第九一、九二輯

歴史研究（大阪教育大学歴史学研究会） 第三六号

歴史研究（大阪府立大学歴史学研究会） 第三七号

歴史人類（筑波大学歴史・人類学系） 第二七号

歴史と地理 第五一八—二八号

和菓子（虎屋文庫） 第六号

図書

愛知大学総合郷土研究所蔵資料図録一

小野市史第五卷 史料編二

寒天ものがたり（虎屋文庫）

歌舞伎菓子尽し展（虎屋文庫）

草島道調査報告書（富山県立日本海文化研究所紀要二二号）

口酒井農業水利組合文書・長井祥光氏文書（伊丹市立博物館史料集二）

館史料集二）

群馬県行政文書簿冊目録 第七集（群馬県立文書館）

群馬県立文書館収蔵文書目録 一七（群馬県立文書館）

小西新左衛門氏文書目録（近代編）（伊丹市立博物館）

三州渥美郡馬見塚村渡辺家文書 貢租二（愛知大学総合郷土研究所叢書七集）

土研究所叢書七集）

史学論集（仏教大学文学部史学科創設三十周年記念）

主要帳簿目録 大坂両替店等作成分（三井文庫）

住友長堀銅吹所と住友家住宅の設計と演出（住友史料館）

千葉県史編纂資料香取文書総目録（千葉県）

中国史管見（善峰憲雄著、龍谷大学東洋史研究会）

豊川流域の水文環境（宮澤哲男著、愛知大学総合郷土研究所一三）

所一三）

年中行事と和菓子（虎屋文庫）

仏教大学園部校地の遺跡（仏教大学校地調査委員会）

豊後国香香地荘の調査（大分県立歴史博物館）

法政と文化（見城幸雄先生頌寿記念事業会、愛知大学文学

会叢書四）

密田家文書目録（富山市日本海文化研究所紀要第二二号）

六億人の審判 第二回インド連邦下院選挙分析（広瀬崇子編、南アジア世界の構造変動とネットワーク）

TSUDA COLLEGE ICS Monograph Series 5